

ふれあい相談

東日本大震災の津波で家が流され、原発事故もあって親子が離れ離れになるという異常な生活を送っています。これが原因かと思いますが、元気だった小学2年の息子が転校した学校の担任から「毎日ぼんやりしている」と聞かされ、悩んでいます。(元いわき市・母親)

転校した息子 毎日ぼんやり…

震災で職を失ったお父さんは県内での就労が決まり、お母さんは小学二年と一歳のお子さんの放射能の影響を心配し、他県に避難していると聞きました。息子は二期学期になって、いわきの学校に戻りたいと言いだしたそうです。担任の先生によると、生活行動に問題はなく、毎日何か考え事しているようで静か。息子さんに悩みや心配事を聞くと、いじめられていないし、先生も同級生も親切に

震災で職を失ったお父さん
は県内での就労が決まり、
お母さんは小学二年と一歳のお子さんの放射能の影響を
心配し、他県に避難していると聞きました。息子は二期学期になって、
いわきの学校に戻りたいと言
だしたそうです。担任の先生によると、生
活行動に問題はなく、毎日何
か考え事しているようで静
か。息子さんに悩みや心配事
を聞くと、いじめられていな
いし、先生も同級生も親切に

してくれるということですが。
日常生活に物足りなさを
感じているのではないでしょ
うか。家庭では父親が不在で、
学校では何でも話せる友人が
いません。息子さんにとって
今までの人間
関係は何物に
も替え難い宝
なのです。

人間関係は宝

「働き掛け」を

そこで、いろいろな「働き掛け」を考えてみましょう。例えば①父親を交えた家族の「だんらん日」を月一回、一泊二日で設定する②スポーツクラブで汗を流す③旧友と避難先の名所旧跡を探訪し、絆を再確認する―など、策は多数あります。

回答者

「学校支援ボランティアの会
「ダイヤルこどもいわき」会長

塩

正守